

～教育目標～  
強く正しく生きる大江の子  
よく考える子  
はげまし合う子  
進んできたえる子



# 大江の子

海津市立大江小学校  
学校通信  
第14号  
令和6年 3月19日

## 「がんばること（努力）の大切さ、がんばれることの素晴らしさ・・・」

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動をご理解いただき、授業や学校行事等にご協力・ご支援を賜りましたこと、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

さて、子どもたちは、4月から新しい学年に進級したり中学校に進学したりします。新しいステージで、ひとりひとりがさらに力を発揮し、輝いてほしいと願ってなりません。

一年生は、2年生になります。いよいよお兄さん、お姉さんになります。新しい1年生にいろんなことを教えてあげなくてはなりません。やさしく教えてあげられるように、ひとりひとりが心と体の準備をしてくれるものと期待しています。

二年生は、3年生になります。低学年から中学年になります。中学年は真ん中の学年です。真ん中の学年として、1,2年生をリードし、5,6年生を手本として頑張らなくてはなりません。きっとできると信じて、がんばってくれるものと期待しています。

三年生は、4年生になります。5,6年生を手本として、1年後に学校を支えられる、高学年になれるよう、クラスの仲間と協力して、一生懸命に学習や生活をし、立派な高学年になる準備をしてくれるものと期待しています。

四年生は、5年生になります。ついに高学年です。高学年は、学校の顔と言える学年です。高学年の生活態度や学習態度が、その学校を表すことになります。自分たちがこの学校を代表しているのだという気持ちで行動してくれるものと期待しています。

五年生は、6年生になります。6年生は、最上級生、全校のリーダーであり、学校の代表です。これまでの五年間で身に付けた力を最大限に発揮するとともに、小学校最後の1年間に悔いを残さない活躍をしてくれるものと期待しています。

六年生は、中学校1年生になります。ひとりひとりが持つ才能（可能性）はとても大きなものです。でも、その才能（可能性）を生かすには、努力することが必要です。4月から始まる中学校生活の中で常に「努力」することを忘れないで、がんばってくれることを期待しています。

最後にがんばること（努力）の大切さについて、誰もが知っている水泳（平泳ぎ）選手、北島康介さんのエピソードを紹介します。

引退会見で北島康介さんは「一番印象に残っているレースは？」と問われ、北京五輪の100m決勝だと答えています。しかし、北島さんは、中学生の時に初めてライバルに勝った試合も印象に残っていると話します。それは五輪出場が夢から目標に変わったレースだと話しました。

当時のライバルの名は関慎介さん、小学生時代から共に泳いでおり、実力は圧倒的に関さんが上だったそうです。北島さんは、関さんに、水泳を初めて10年間で1度も勝利したことがありませんでした。北島さんと関さんは中学校最後の全国中学校体育大会で直接対決し、このレースで北島さんは初めて関さんに勝利しました。

北島さんに敗れて自信を失った関さんは、タイムも伸びず、大学2年生で現役を引退しました。関さんは、北島さんになぜ負けたかと問われると、「努力できるか」、「努力できないか」の差だと話しました。

「スポーツ！天国と地獄～語られなかったあの名場面のウラ側～」TBSより

私たちは、北島さんのオリンピックの素晴らしい結果だけを見て、「北島さんは才能があるから勝てるんだ」と思いがちですが、その裏には、並大抵ではない、長い間の努力の積み重ねがあったことを覚えておきたいものです。ともすると、私たちは自分自身を省みないで、何かよくないことがあるとその原因を環境や他人のせいにしてしまいがちですが、うまくいかないときや失敗したときこそ、自分自身を省みて、努力することが大切ではないでしょうか。

努力をすることは大変なことですし、努力したからといって、結果（成功）が必ずついてくるわけでもありません。ですから、努力ができるということは、とても尊い、素晴らしいことだと思います。

## 進級・進学に向けて2

3月6日（水）の6年生を送る会を終え、どの学年も次の学年への進級に向けてステップ・アップを図っています。とくに5年生はこれまで6年

生が行っていた旗当番や通学班長などの活動を引き継ぎ、全校のリーダーとしての歩み出しを始めています。

また、6年生では、卒業式を目の前にして、立

つ鳥運動と称して、6年間学んだ校舎に対する感謝を表そうと校舎内の清掃活動に取り組んでいます。

### 6年生を送る会 【3/6(水)】

第1部の「たてわり班感謝の会」では、たてわり班ごとに各教室に集まり、第2部の「伝統を引き継ぐ会」は体育館に全校が集まって行いました。保護者の方も何名かご参観していただくことができました。

第1部「たてわり班感謝の会」では、1～6年生から成るたてわり班ごとに在校生が一人一人、6年生のリーダーに感謝の気持ちや中学校でもがんばってほしいという励ましを伝えました。また、メダルと手紙に気持ちを表して手渡しました。6年生の子たちはどの子も、うれしそうなお表情で受け取っていました。

第2部「伝統を引き継ぐ会」では、6年生がこれまで大切にしてきた伝統や当番活動を全校を代表して5年生に引き継ぎました。5年生は「あやの花」「あいさつ」「学習」「旗の上げ下ろし」「たてわり遊び・そうじ」の伝統や当番活動を6年生から引き継ぎました。

この6年生を送る会は5年生が中心となって企画運営を行い、事前にお知らせをしたり、準備や練習をしたりして、当日の進行も行いました。みんなで力を合わせて、会の企画運営や会場準備、当日の進行などを行いました。この会を通して、来年度、海津小のリーダーとしての自覚がより一層芽生えたことと思います。6年生から伝統と当番活動を受け継いだ5年生の今後の活躍も楽しみです。

一方、6年生はいよいよ小学校生活の集大成となる卒業式に向けて、小学校生活最後のしめくり、やりきりに向けて、一日一日を仲間と共に大切に過ごしています。全校のリーダーとして、卒業のその日まで頑張り抜いてくれることだと期待しています。

### 感謝の会【3/6(水)】

1年間、登下校の見守りや学習、学校行事等でお世話になったボランティアの方々をお招きして、感謝状をお渡しして全校でお礼を伝えました。また、最後に全校で自分と地域の方に対して、決意や感謝の気持ちを込めてエールを送りました。

多くの保護者や地域の方に学校の教育活動、そ

して、子どもたちの成長を支えていただいたことにあらためて感謝をします。

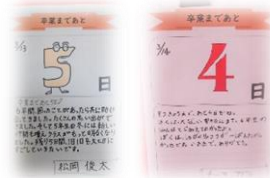


### 【今後のおもな予定】 卒業証書授与式 【3/21(木)】

6年生児童5名、6年生保護者様、来賓7名、学校職員、そして、在校生全員が参加し、直接、見送ります。



今年度は在校生のお別れの言葉も直接、卒業生に伝える予定で準備を進めていきます。大江小学校最後の卒業生を全校児童、職員、保護者の方たちと見送ります。



6年生の教室には卒業までのカウントダウンカレンダー、児童玄関には閉校までのカウントダウンカレンダーが掲示されています。



### 修了式及び離任式 【3/22(金)】

1～5年生が今年度の教育課程を修了したことを認める修了式があります。1～5年生にとっては大江小学校での最後の式となります。

また、今年度いっぱい閉校となる大江小学校にとっては、全教職員が異動になります。そんな教職員と子どもたちのお別れの式を行わせていただく予定です。